



知的障がい者施設

鹿児島しようぶ学園

# 幸福は 日々の中に。

「普通」という曖昧な海を  
泳いでいるみんなへ。



監督・脚本・撮影：茂木綾子、ヴェルナー・ペンツェル <http://silentvoice.jp/whilewekissthesky/>

録音：ウエヤマトモコ、茂木綾子 編集：茂木綾子、フリッツ・パウマン 音楽：福森伸、フレッド・フリス(タイトル音楽) 演奏：otto&orabu、フレッド・フリス(タイトル音楽)

制作：silent voice, werner penzel film production プロデューサー：相澤久美、芹沢高志、ヴェルナー・ペンツェル 配給：silent voice 宣伝：佐々木瑞都

助成：文化庁文化芸術振興費補助金、日本財団 2015/日本/カラー/73分/16:9/HD ©silent voice/werner penzel film production

日本 THE NIPPON  
映画 FOUNDATION

文化庁文化芸術振興費補助金  
文化庁 Agency of Cultural Affairs, Government of Japan



知的障がい者施設

鹿児島しょうぶ学園

# 幸福は日々の中に。

僕たちは、彼らに社会の秩序というものを教える立場ではない。彼らから精神的な秩序を学ぶべきだ。学園長 福森伸



時が止まったような不思議な居心地の良さ、もしかしたら未来の世界なのか、そんな目眩のような感覚に襲われるのは何故だろう。しょうぶ学園では「ノーマル」と「スペシャル」の境界を超えて、私たちは「人」として日々なにを共有しているのか再確認することができる。

現代社会はさまざまな局面で、寛容さを失い始めているように思えてならない。この作品は、多様さとか寛容さとはなんなのか、説明抜きに伝えてくれるだろう。



今まで当たり前だと信じてきたことが、少し違った風景となり見えてくるかもしれない。

しょうぶ学園のアート、クラフト作品の展示は東京都美術館の「楽園としての芸術」展(2015年)をはじめ全国各地で開催され、nui projectのシャツは初日でほぼ完売が定番。音楽隊のotto&orabuも日本各地で公演し、音楽家の高木正勝やUA、おおたか静流らとの共演も多数。アート、クラフト、音楽ともに全国に熱烈なファンを持つ。作品に魅了されしょうぶ学園を訪れた人々は、園生が働くカフェでパスタを食べながら「人生が変わるような体験」と思わず口に出す…。不思議な風景に出会う73分。

90年代に伝説となったインディペンデント映画『ステップ・アクロス・ザ・ボーダー』を制作したドイツ人映像作家ヴェルナー・ペンツェルと、『島の色静かな声』(08)を制作した、写真家でもある茂木綾子による共同監督作品。

芸術という行為は、心の奥底で震えている命の鼓動の発散なのだと思う。

その鼓動を心から外に出すためには、心の摩擦がない

とても純粋な心の通り道が必要な気がする。

ミナ ペルホネン 皆川明



しょうぶ学園とは?(鹿児島市吉野町) 障がいを持つ人たちが地域社会でよりよく暮らしていくために、友好的で安全で、のびのび過ごせる環境を提供している。ものづくりを通じ、人が本質的に備えている創造する力を引き出し、協働を通してよこぎをわかちあえるコミュニティーづくりを実践している。人と人がささえあい、つながりあい、つくりだす暮らし、創造的な福祉事業の可能性に貢献し続けている。敷地内には、入所、通所のための施設に加え、カフェ、ベーカリー、蕎麦屋、工房、ギャラリー、ショップなどが点在する。園生と職員による音楽隊otto&orabuは日本各地で公演している。



7月2日[土]、シアター・イメージフォーラム

ほか全国順次公開! 11:00/20:50 特別鑑賞券¥1,500(税込)発売中

劇場でお買い求めの方に先着で海外版ポスタープレゼント!

[シアター] イメージフォーラム

TEL. 03-5766-0114 東京都渋谷区渋谷2-10-2

渋谷駅より8分 宮益坂上がり青山通り青山学院方面一つ目信号右に入る

